

(案)

**多々良沼・城沼**  
**自然再生事業実施計画**  
**(事業管理)**

平成 25 年 7 月

**多々良沼・城沼自然再生協議会**



# 目 次

<b>第1章</b>	<b>実施者の名称及び実施者の属する協議会</b>	<b>1</b>
<b>第2章</b>	<b>自然再生事業の対象となる区域及び区域の概要</b>	<b>1</b>
2-1	対象区域	1
2-2	対象区域の概要	2
(1)	区域の歴史及び社会環境の概要	2
(2)	区域の自然環境の概要	2
2-3	対象区域の現状と課題	3
(1)	環境変化の概要	3
(2)	水環境等の現状	4
<b>第3章</b>	<b>自然環境保全上の意義と効果</b>	<b>6</b>
<b>第4章</b>	<b>実施計画の内容</b>	<b>6</b>
4-1	自然再生指標の設定とモニタリング及び評価	6
(1)	水質の改善	6
(2)	生態系の保全・回復	7
(3)	親水性の向上	14
(4)	地域の協働関係の構築	15
4-2	表彰・顕彰の実施	16
4-3	活動資金の助成	16
4-4	普及啓発事業の実施	16
4-5	年次報告書の発行	16
4-6	地域の経済活動との連携	17
<b>第5章</b>	<b>その他自然再生事業の実施に関し必要な事項</b>	<b>18</b>
5-1	情報の公開と市民参加	18
5-2	他の取り組みとの連携	18
5-3	計画の見直し	18
<b>参考資料1</b>	<b>関係機関において実施が予定されている自然再生事業</b>	<b>19</b>
(1)	群馬県関係	19
(2)	館林市関係	21
(3)	邑楽町関係	22
(4)	多々良沼・城沼自然再生協議会 参加団体の活動カレンダー	22



## 第1章 実施者の名称及び実施者の属する協議会

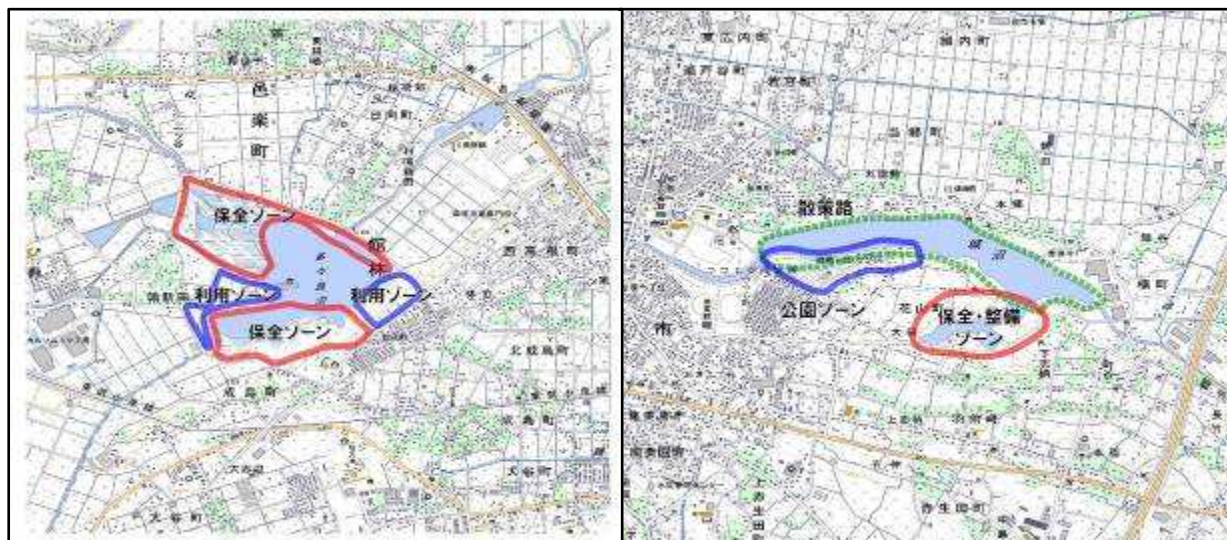
本実施計画は、多々良沼・城沼自然再生協議会が、第4章に記載した自然再生事業を全体構想に基づき円滑に実施するために取りまとめたものである。

実施者の属する協議会は、多々良沼・城沼自然再生協議会である。

## 第2章 自然再生事業の対象となる区域及び対象区域の概要

### 2-1 対象区域

自然再生の対象区域は、次図に示す多々良沼約 150ha、城沼約 100ha であるが、水質改善のための取り組みについては、流入する河川流域全体とする。



いずれも 出典：多々良沼城沼自然再生事業全体構想

多々良沼の自然再生対象区域（水域含む）

城沼の自然再生対象区域（水域含む）



出典：多々良沼城沼自然再生事業全体構想を一部修正

多々良沼の流入・流出流域と城沼の流入流域

## 2-2 対象区域の概要

---

### (1) 区域の歴史及び社会環境の概要

---

多々良沼と城沼が位置する邑楽館林地域は群馬県の南東部にあり、渡良瀬川と利根川に挟まれ、各所に平地林と沼・湿地が残っている。

沼や湿地は、関東ローム層からなる低い台地を小河川が削ることによってつくられた、泥質堆積物が積もった谷底にある。台地上部との標高差は3 m程度である。

谷底の湿地が徐々に水田化される中で、多々良沼は主に農業用水の供給源として、城沼は主に館林城を守る自然の要害として、沼の状態が維持されてきた。

多々良沼は、群馬県館林市と邑楽町にまたがる沼で、面積は約 80ha、周囲は約 7 km ある。最寄駅は、東武伊勢崎線館林駅、多々良駅と、小泉線成島駅である。

城沼は、館林市の館林城址の南東に位置し、東西約 3.8km、南北 0.2km の東西に細長い沼である。面積は約 50ha、周囲は約 8 km と大きく、外周園路は多数の市民の散策や運動に活用されている。最寄駅は東武伊勢崎線館林駅で、東北自動車道館林インターチェンジにも近い。

### (2) 区域の自然環境の概要

---

#### 1) 多々良沼

多々良沼に流入する河川には多々良川と孫兵衛川がある。沼を経た水は、水田のかんがい期に一部が逆川に流れ出るほか、多々良川として矢場川に合流し、渡良瀬川へと流れている。

かつて、渡良瀬川の洪水時には河川水が多々良沼周辺にも逆流し、大規模な洪水が発生していたが、江戸時代以前に設置された洪水防止の堰（現木戸堰付近）や木戸堰の改修整備（昭和 43 年（1968 年））により、渡良瀬川からの逆流は発生しなくなった。

一方、木戸堰の設置に伴い多々良沼の農業用水源としての機能が強化され、水田のかんがい期は非かんがい期に比べ沼の水位が約 2 m 高くなるなど、多々良沼特有の水辺環境が確立されてきた。

また、冬季にはハクチョウをはじめとする多くの水鳥の飛来地となるほか、釣りや風景写真の撮影、ウォーキングに訪れる人も多く、近接する多々良沼保安林、群馬県立館林美術館と併せて、観光やレクリエーションの拠点となっている。

#### 2) 城沼

城沼への主な流入は鶴生田川と加法師川であり、沼から流出する鶴生田川は、谷田川と合流し、渡良瀬遊水地を経て利根川に流れる。

城沼の水深は、昭和 38 年（1963 年）頃までは最大水深 1.4m 程度で大半が 1 m 未満の、水深の浅い沼であった。

しかし、館林市の市街地の排水が、鶴生田川等を経由して城沼に集中し、周辺地域の洪水被害が相次いだため、沼の浚渫により洪水調節容量を確保する工事と、上流部の鶴生田川放水路により上流からの洪水を近藤川に分派する工事が実施された。また、水質の富栄養化を緩和するため、平成6年（1994年）から、鶴生田川を通じて、多々良沼の水を城沼に導水している。

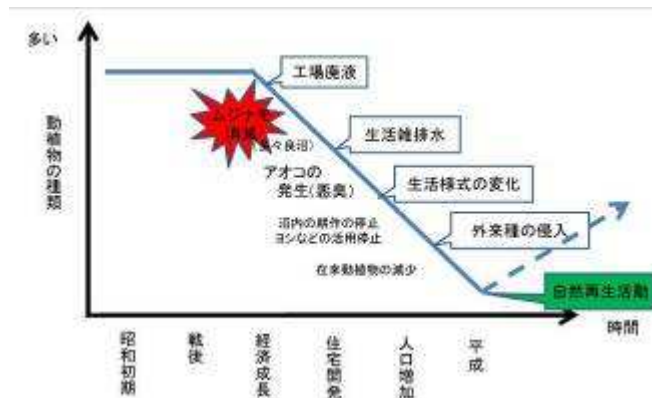
現在の城沼は、周辺には、館林城の土塁の遺構、江戸時代からの古木が残るつつじが岡公園、尾曳神社、善導寺（榊原康政墓所）、善長寺などの名所旧跡が残されているほか、城沼総合運動公園が隣接して整備されている。また、冬にはハクチョウなどの水鳥の飛来地、春にはつつじの名所、夏にはハス花まつりが行われて、四季を通じた観光・レクリエーションの拠点となっている。

## 2-3 対象区域の現状と課題

### (1) 環境変化の概要

多々良沼及び城沼は、戦後の高度経済成長と人口の増加を受けて、それぞれ多々良沼は主に邑楽町、城沼は館林市の市街地の生活排水、農業排水が流れ込み、富栄養化が進んだ。

また、沼周囲の湿田の乾田化・畑地化、あるいは耕作の停止、ヨシなどの活用の停止といった、経済活動・生活様式の変化も要因となって、湿地・湿田などを生息・生育環境としている在来の動物種が少なくなりつつある。



環境変化の概要 イメージ図



## (2) 水環境等の現状

---

### 1) 水質

城沼下流の鶴生田川岩田橋地点のBOD（生物学的酸素要求量）は、毎年「生活環境の保全に関する環境基準 河川C類型」を超過しており、県内河川で最も富栄養化した状況が続いている。

また、多々良沼と城沼のBODは、流域住民の生活排水対策実施の努力により、城沼の水質は改善傾向にあるものの、館林市内の他の沼（蛇沼、近藤沼、茂林寺沼）と比べて常に数値が高く、「汚れている」状況が続いている。

### 2) 魚類<sup>1</sup>

平成16年（2004年）に多々良沼、17年（2005年）に城沼において、定置網を使って調査したところ、いずれの沼でも、水質の悪化に耐えられるモツゴが捕獲個体数の大半を占めていた。在来種のタナゴ類については確認ができず、特定外来種のおオクチバスの個体数比率が高かった。

魚類の確認種数は、多々良沼が30種に対して、城沼では25種であったことから、多々良沼は渡良瀬川との交流があると考えられるが、城沼は、流出口の首洗堰や谷田川の堰により下流河川との交流が限られていると考えられる。

### 3) 鳥類

鳥類については、日本野鳥の会群馬県支部館林分会等により熱心な調査活動が行われており、多々良沼では平成14年（2002年）～19年（2007年）の間で113種、城沼では平成15年（2003年）～19年（2007年）の間で60種が確認された。

多々良沼はハクチョウの越冬地として知られているが、城沼でも平成12年（2000年）頃からハクチョウの飛来が確認され、カモ類などの水鳥も数多く確認されている。

また、春・秋の渡りの時期には、多々良沼の水位の低下によって現れた干潟にシギ・チドリ類が飛来する。

### 4) 植物

植物については、特に多々良沼において、数多くの水生植物が残存し、古くから全国的に注目されてきた沼であり、昭和3年（1928年）には、牧野富太郎博士指導の東京植物同好会が訪れて、沈水植物のムジナモや多数の湿地性植物が記録された。

その後、平成6年（1994年）に行われた調査では、ボランティアセンターの南西ヨシ群落内で沈水植物のイヌタヌキモが確認されたほか、タタラカンガレイなどの湿地性植物が確認され、平成19年（2007年）の調査では、沈水植物のキクモや、オニビシ・ミズハコベなどの貴重な浮葉植物が確認された。

このことから、多々良沼においては、水質の富栄養化などのマイナス要因はあるものの、

---

<sup>1</sup>以下、動植物の現況については、主として「館林市史 特別編 第3巻 館林の自然と生きもの」（平成8年（2008年）、館林市）の記述に基づく。

引き続き水辺環境を改善又は維持していくことにより、乾田化されずに残っている区域や浅水域の底泥中の埋土種子を起源とする「かつて存在していた水生植物」を再生できる可能性は高いと考えられる。

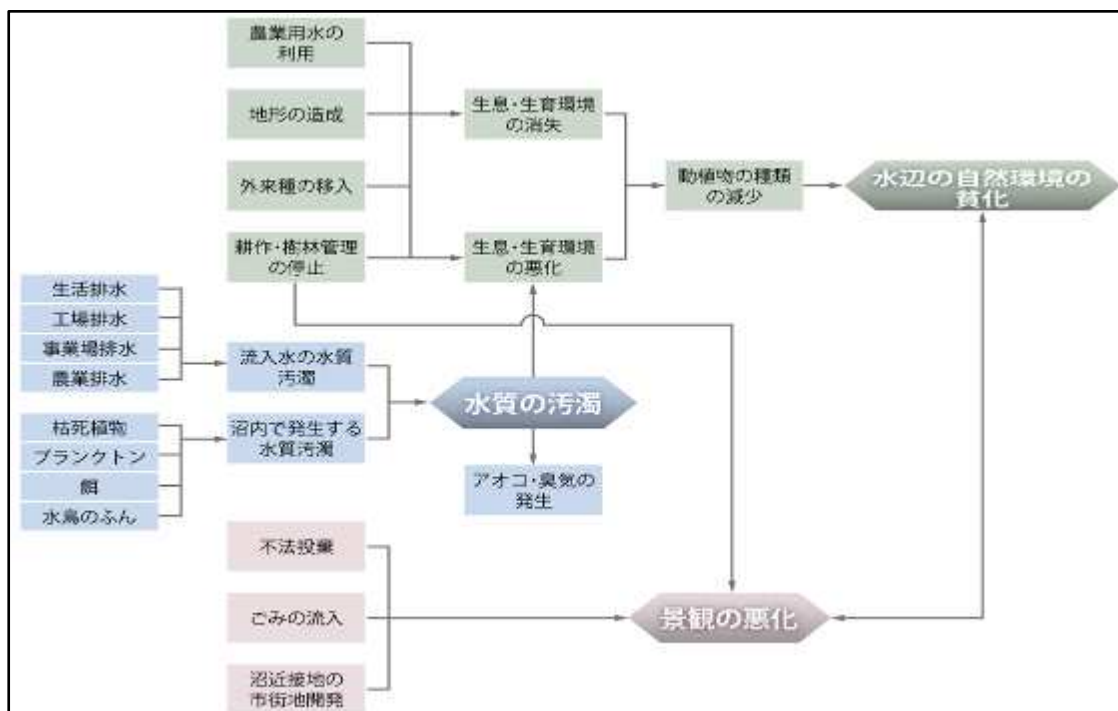
一方で、平成 19 年（2007 年）の調査では、多々良沼周辺でアレチウリなどの特定外来生物が確認されており、継続的な監視と適切な駆除を継続する必要がある。

一方城沼では、洪水対策として行われた浚渫工事により、なだらかだった水際部や沼内の浅い部分が掘削され、こうした場所に生育していたヨシ・ガマ群落が一時的に失われたが、その後、一部親水護岸整備により埋め戻され、傾斜のある水際にヨシ群落が再生した。また、沼内にはハス群落が広がっている。

城沼の南東に位置する古城沼は、江戸時代初期頃に仕切土手により城沼と分断され、城沼の水が入らない水田と湿地の状態となり、湿地部分は、枯死したマコモ・ヒメガマ・ヨシ等の堆積による陸化が進み、一部は泥炭層が浮島になっているとされていた。その後、平成 3 年（1991 年）頃から浚渫工事が行われ、当時のヤナギ林・ハンノキ林は鋼矢板で外周を保全した上で植物生物保全ゾーンとして残され、湿地部分は掘削された。現在、古城沼の掘削部分は開放水面となり、一部にハスの群落が広がっている。

## 5) 水質・動植物・親水性の課題の関連

多々良沼と城沼の現状の課題は、図に示すようにつながりあっており、自然再生を実現するためには、それぞれの課題の解決に関係する、幅広い参加者による多様な活動の実施が不可欠と考えられる。



多々良沼・城沼の水質・動植物・親水性の課題の関連図

### 第3章 本実施計画の自然環境保全上の意義及び効果

本事業の対象区域は、多々良沼及び城沼とその隣接する地域で、それぞれの沼の周囲に都市公園等が整備されており、民地と公有地が混在する地域である。

本区域内では、郷愁を感じさせる風景を維持し、東毛地域独特の自然や清らかな水質を取り戻すために、既に、多様な人々がそれぞれの目的をもって、環境美化、水質改善、及び自然環境の保全・愛護活動などに取り組んでいる。

しかしながら、現時点ではこれら活動が協調し相乗効果を上げるように実施されているとは言えない状況であり、団体によっては会員の高齢化が進むなど、活動の継続と更なる発展に向けた連携や積極的な広報、活動参加者の増加を図ることが急務となっている。

そこで、本協議会は、

- ① 既存の活動に関する情報をそれぞれの関係者間で共有し理解すること
  - ② それぞれの活動をより一層促進するための手法や助成などを提供すること
  - ③ 地域の将来像を実現するために新たな活動や参加者を誘導する体制を作ること
- を実施することにより、自然再生と共に地域全体の活動の活性化につなげるものである。

## 第4章 実施計画の内容

### 4-1 自然再生指標の設定とモニタリング及び評価

#### (1) 水質の改善

##### 1) 自然再生指標

多々良沼・城沼自然再生事業全体構想では、沼周辺だけでなく流入河川の上流地域の全ての者が、沼への汚濁負荷の低減に取り組み、蓄積された「汚れ」を取り除くとともに、沼の自然浄化能力を回復させることを目指している。

そこで、多々良沼・城沼を含む水系の水質改善状況を総合的に把握するため、各沼中央部の表層における水質（BOD及びCOD）を水質改善の指標とする。

##### 2) 目標値

多々良沼・城沼それぞれの中央部の表層における BOD 及び COD が環境基準を下回ることを目標とする。なお、多々良沼（多々良川）には環境基準が設定されていないが、水系全体の水質改善を目指すため、城沼（鶴生田川）と同じ基準の達成を目標に設定する。

適用する水質項目と基準値

項目	算出方法	環境基準	水域類型	類型選択の根拠
BOD	75%値	5mg/l 以下	河川 C	鶴生田川の類型指定
COD	75%値	5mg/l 以下	湖沼 B	鶴生田川の類型指定における水域用途と同等の湖沼類型を採用

##### 3) 評価方法

2) の表に示した環境基準値の達成状況を項目ごとに評価する。

##### 4) モニタリング方法

自然再生協議会は、館林土木事務所及び館林市が実施している、次2点における公共用水域水質調査結果を収集する。

水質のモニタリング地点

沼	多々良沼	城沼
評価地点	多々良沼中央部（表層）	城沼中央部（表層）
調査実施主体	館林土木事務所	館林市
調査地点名称	沼（1）（表層）	城沼中央部（表層）
年間調査回数	4回/年	6回/年

## (2) 生態系の保全・回復

---

### 1) 自然再生指標

多々良沼・城沼自然再生事業全体構想では、水域の環境と陸域の環境が、互いに接し、入り組んで存在することで形成される豊かな生態系が保全・復元され、それぞれの環境に多様な生物が生息する場所となることを目指している。

しかし、水質の悪化や、地域経済、ライフスタイルの変化を受けて、それまでは東毛地域の沼・湿地・湿田や平地林内で普通に見られていた在来種が確認しづらくなっている。

一方で、平成 17 年（2005 年）に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」が施行されるなど、地域の生態系に悪影響を与える動植物種に対する認識は高まりつつあり、それらの生息・生育状況を把握し適切に管理・駆除することが、在来の動植物種とそれらを含む生態系の保全・再生に大きく貢献する。

そこで、自然再生事業の対象区域において確認される、在来の動植物種の個体数（分布範囲）・種数の増加、及び、特定外来生物等地域の生態系に悪影響を与える動植物種の個体数（分布範囲）・種数の減少を、生態系の保全・回復の指標とする。

### 2) 目標像

自然再生事業の対象区域に入り組んで存在する、水域、湿地（湿性草地）、陸上の草地、及び水辺と陸上の樹林地において、以下の 2 点を、生態系の保全・回復の目標像とする。

- ①「特に保全・回復・再生を目指す在来の動植物種」が、平成 25 年（2013 年）時点よりも増加すること。
- ②特定外来生物等「地域の生態系に悪影響を与える動植物種」が平成 25 年（2013 年）時点よりも減少すること。

### 3) 評価方法

以下の 2 点について、平成 25 年度以降に現況調査を実施して基準年の値・状況を明らかにし、以後の調査結果を基準年の状況と比較して、評価を行う。

- ①在来の動植物種の個体数（分布範囲）・種数の維持、あるいは増加。
- ②特定外来生物等「地域の生態系に悪影響を与える動植物種」の個体数（分布範囲）・種数の減少。

#### 4) モニタリング方法

モニタリングは、当面、鳥類、魚類、及び植物について実施する。昆虫類、哺乳類等についても、データの収集、調査体制の構築を図る。

##### 生態系の保全・回復のモニタリング調査概要

鳥類	・対象区域で確認できる陸鳥・水鳥の種及び種数を調査する (ヒヨドリ等の大きな群れが確認された場合個体数が大きく増加し、他の調査時との比較が難しくなることから、個体数はモニタリング対象としない)
魚類	・多々良沼・城沼で捕獲される魚類に占める在来種・外来種の個体数・種数を調査する
植物	・「特に保全・回復を目指す植物種」の個体数(分布範囲)・種数を調査する (湿地等、立ち入りが危険な場所に生育する植物種も確認する必要があるため、原則として外部の調査機関への委託により調査を行う。) ・「地域の生態系に悪影響を与える植物種」の個体数(分布範囲)・種数を調査する (以後の駆除活動につなげることを目指し、市民による清掃・草刈活動を行っている市民団体等との協働による調査を行う。)

## **a. 鳥類**

### **i. 調査個所**

自然再生事業の対象区域及び周辺とする。

### **ii. 調査方法、頻度・期間**

現地調査の方法等は、原則として（公益財団法人）日本野鳥の会群馬県支部館林分会の方法等を基本とするが、調査を実施する各団体の任意とする。

調査結果の取りまとめは、原則として調査を実施する各団体が現地調査日ごとに行い、短い報文とともに自然再生協議会事務局に提出する。

自然再生協議会は、

- a. 現地調査日程をあらかじめ調査実施団体から入手し、協議会ホームページ等を利用して広報する。
- b. 現地調査実施後、調査実施団体から調査結果を入手する。

### **iii. 調査結果の取りまとめ**

自然再生協議会は、収集した調査結果をもとに、対象区域で確認できた陸鳥・水鳥の種類・種数を記録し、前年、及び過年度と比較し評価を行う。

## b. 魚類

### i. 調査箇所

- ・多々良沼：定点1～2カ所
- ・城沼：定点1～2カ所

### ii. 調査方法

- ・本調査に先立ち、前に、複数の漁具（定置網、さし網、投網等）で捕獲を試行し、最も多くの個体又は種類を捕獲できる漁具を選定する。
- ・捕獲した個体は、現場で、種の同定、種別の個体数の計数を行う。
- ・外来種は、調査後、リリース、あるいは殺処分し、生体の移動は行わない。

### iii. 頻度・期間

年1回の調査を概ね5年毎に実施する。

#### 魚類のモニタリング調査案

多々良沼	調査時期 9月末	多々良沼は、5月頃堰上げされた沼の水が、9月末に水位が減少することにより、魚類の活動が活発になり、他種類の魚類の確保が可能と見込まれることから。
城沼	調査時期 9月末	多々良沼と同時期の実施が好ましいことから。

### iv. 調査結果の取りまとめ

自然再生協議会は、多々良沼・城沼それぞれについて、以下の数値を算出し、過年度と比較し評価を行う。

- ① 在来種の種数
- ② 外来種の種数
- ③ 全捕獲個体数に占める在来種、外来種の比率



## c. 植物

### i. 調査箇所

自然再生事業の対象区域及び周辺。

### ii. 調査方法

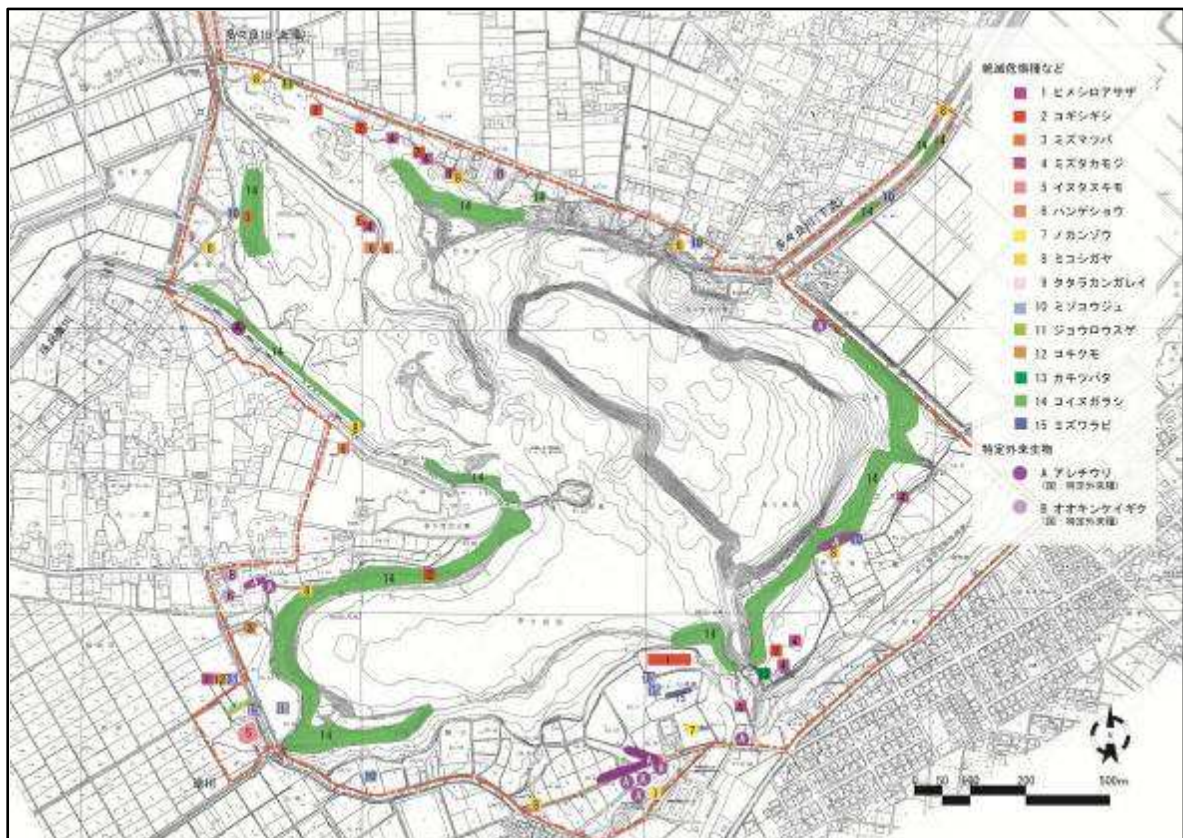
#### ア. 調査対象種の選定

- ・自然再生協議会は、生態系部会（青木専門委員）の協力を得て、調査対象（駆除対象）とする「特に保全・回復を目指す植物種（以下、保全対象種）」及び「地域の生態系に悪影響を与える植物種（以下、駆除対象種）」を選定する。

## イ. 保全対象種調査の実施

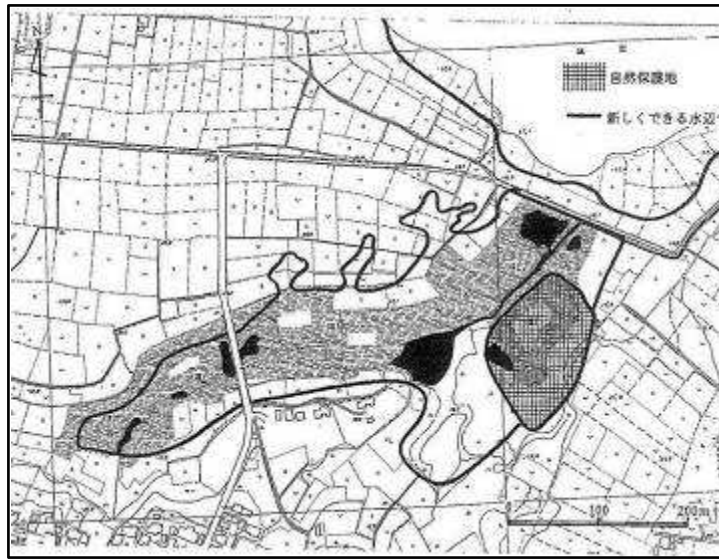
### ● 調査方法

- ・自然再生協議会は、多々良沼及び城沼の水域及び周辺の陸域を対象として、植物相調査を実施する。
  - ・調査に当たっては、調査対象とする区域の植物相に関する知見が豊富な専門家の協力を得る。(調査時期及び重点的な調査箇所等に関するアドバイスの提供、現地調査への同行指導、及び調査結果の検査等)
  - ・また、調査の精度・効率に影響が出ない範囲で、市民等の調査への参加を図る。
  - ・調査範囲は、多々良沼周辺を重点とし、水域、湿地部、草地部(畑地・公園予定地等)、樹林部を網羅する。なお、「湿地部」はヤナギ高木林、ハンノキ林、ヤナギ低木林、及び湿性草地(ヨシ群落、マコモ群落、ヒメガマ群落、オギ群落、水田雑草群落(休耕地含む))を指す。
  - ・城沼の調査を行う際には、平成2年(1990年)に古城沼の改修を行った際に湿地性植物を移植した南東部樹林内(自然保護地)を重点とする。
- ・なお、植物相調査の実施中に確認された駆除対象種は、種、位置、分布範囲を図・表に記録・整理し、市民の協力による駆除対象種調査の実施に活用する。



【参考】平成19年(2007年)に多々良沼及び周辺で確認された希少種等(絶滅危惧種など)の

## 確認位置



出典：「館林の植物」館林市（平成7年（1995年））

【参考】平成2年（1990年）の古城沼浚渫及び自然保護地整備の状況

● 頻度・期間

生育している在来種を確認するために、次表を参考にして、年4回の調査をおおむね5年毎に実施する。

保全対象種の保全活動が開始された場所では、保全による効果を確認するため、毎年適期に調査を実施して、個体数（分布範囲）を把握する。

植物相のモニタリング調査案

季節	春	夏	秋	早春
時期	4, 5月	7, 8月	9, 10月	2, 3月
注目点	春季の開花植物を中心に確認する。	湿地のスゲ類等、夏季の開花植物を中心に確認する。	主にイネ科、キク科植物を開花により確認する。	水位上昇前の干潟・湿地（冬水田んぼを含む）に生育する植物を確認する。

ウ. 市民の協力による駆除対象種調査の実施

● 調査方法

- ・自然再生協議会は、自然再生事業の対象区域及び周辺で清掃・草刈活動を実施している団体に対し、年2回の調査時期に該当する活動に先立ち、清掃・草刈と同時、あるいは先立って、駆除対象種調査を実施するよう、協力を要請する。
- ・また、自然再生協議会は、分布状況の記録用紙を作成する。
- ・自然再生協議会生態系部会（専門委員）は、各活動団体とともに、各団体の活動範囲における駆除対象種の分布状況を現地において調査し、出現した駆除対象種の同定について解説するほか、出現しなかった対象種の見分け方についても、概要を解説する。また、分布状況の記録方法の普及を図る。
- ・自然再生協議会は、各活動団体から、各回の調査実施後に分布状況の記録用紙の提出を受け、分布を拡大しつつある駆除対象種の種類及び分布範囲を把握し、生態系部会（専門委員）と、緊急の駆除の必要性について協議する。

● 頻度・期間

駆除対象種の駆除活動が開始されるまでの期間は、年2回の調査を5年おき毎を目安に実施する。

駆除対象種の駆除活動が開始された場所では、駆除による効果を確認するため、調査を毎年実施する。

駆除対象種のモニタリング調査案

第1回	5～6月	主な植物種の生長期。 （この期間に刈取等を行うと、最盛期の繁茂範囲や開花・結実を抑制できる）
第2回	8～10月	主な植物種の繁茂期。 （この期間に刈取等を行うと、開花・結実、種子の散布、及び翌年の生長を抑制できる）

## **(3) 親水性の向上**

---

### **1) 自然再生指標**

多々良沼・城沼自然再生事業全体構想では、沼が持つ既存の価値を磨くとともに、より多くの人々が様々な形で自然を楽しみ、歴史・風景・伝統的な文化に触れる機会を創出し、沼に愛着を持つ人々が増えることを目指している。

そこで、自然再生事業対象区域において行われる以下の活動の、単年度の延べ参加者数合計を親水性の向上の指標とする。

- ① 園等の施設利用者数
- ② スポーツ、レクリエーション、まつり等のイベント等の開催及び参加者数
- ③ 清掃・美化活動の開催及び参加者数
- ④ 自然環境・自然再生・水質改善に関わる講座・体験教室・課外授業等の開催及び参加者数

### **2) 目標値**

平成 25 年度以降に現況調査を実施して基準値を設定し、基準値からの増加を目指す。

### **3) モニタリング方法**

自然再生協議会は、自然再生事業対象区域において行われる対象活動の情報を収集し積極的に PRするとともに、参加者数等の計測・記録・アンケート調査等を実施者に依頼する。活動終了後、自然再生協議会は、参加者数情報を収集し、累計・整理する。

### **4) 評価方法**

整理した結果を基準年と比較して、評価を行う。

## **(4) 地域の協働関係の構築**

---

### **1) 自然再生指標**

多々良沼・城沼自然再生事業全体構想では、多様な主体が、それぞれの役割分担に基づいて、自発的に活動を進めつつ協働する、地域の協働関係を構築することを目指している。

そこで、自然再生事業全体構想に位置付けられる活動を実施する団体のうち、実施計画を策定して活動を行う団体数を、地域の協働関係の構築の指標とする。

### **2) 目標値**

複数の団体が共同で実施計画を策定するケースや、協議会がヒアリングを通じて実施計画を誘導するケースなど、自然再生協議会に参加する団体すべて（平成 24 年度末時点で 31 団体（地方公共団体、町内会、民間企業、市民団体を含む））が実施計画を持つことを目指す。

### **3) モニタリング方法**

毎年度末時点の実施計画策定団体数を計数する。

### **4) 評価方法**

計数結果を基準年値、前年値、及び協議会参加団体数と比較して、評価を行う。

## 4-2 表彰・顕彰の実施

---

自然再生事業全体構想における目標及び指標の達成に大きく貢献した取り組み、及び自然再生事業に関するPRに貢献した取り組みを実施した団体などに対し、自然再生協議会が表彰・顕彰を行う。

## 4-3 活動資金の助成

---

自然再生事業全体構想における目標達成に向けた取り組みとして、新しい分野・方法・参加者層をターゲットとした事業・活動にチャレンジする者やその活動の拡大を図ろうとする者などが行う活動に対して、企画提案の公開審査を行い、自然再生協議会が活動資金の助成を行う。

## 4-4 普及啓発事業の実施

---

自然再生協議会は、自然再生に必要な情報について、協議会参加公共団体、市民団体等の広報・会報を活用した情報発信や、マスメディアへの情報提供をするとともに、協議会及び協議会委員・母団体が持つ人脈ネットワークを活用し、群馬県・館林市・邑楽町等が実施する市民向け講習会への講師派遣など、多様な普及啓発事業を実施する。

## 4-5 年次報告書の発行

---

自然再生協議会は、多数の団体が進めるそれぞれの活動の報告を毎年度収集し、「活動報告書」として公開する。

また、自然再生協議会は、活動報告書の作成に向けた情報収集や編集作業、公開後の報告会の開催等を通じて、①目標・指標の共有・普及、②協議会・部会におけるコミュニケーションの継続・促進、③目標・指標の達成状況の確認及び共有・普及を図る。

## 4-6 地域の経済活動との連携

---

自然再生協議会は、ヨシ刈り・ヨシ焼き、イケチョウガイによる淡水真珠養殖、ハス根茎除去（レンコン掘り）などの既存の活動の有料イベント化、首都圏からのバスツアー等の集客等、自然再生事業と地域の経済活動との連携を積極的に推進する。

## 第5章 その他自然再生事業の実施に関し必要な事項

### 5-1 情報の公開と市民参加

---

本計画の実施に当たっては情報の公開と説明を十分に行い、透明性を保つ。

また、関係組織・団体、及び地域住民をはじめとする様々な人々の意見を取り入れ、必要に応じて計画を見直し、合意を得ながら事業を進める。

### 5-2 他の取り組みとの連携

---

ふたつの沼に関わりを持つ多様な立場の団体・個人が一堂に会してから、部会の開催がまだ10回に満たない段階にある。今後は、他の事業実施者や専門家及び近隣住民との間で頻繁に意見交換が行われ、地域における人脈ネットワークが強化されるよう、自然再生協議会が実施する事業を通じて、多様な自然再生事業の事業主体の管理、及び自然再生事業全体の円滑な運営の実現を目指す。

自然再生協議会が、地域や事業実施者の意見を十分把握し、これらの人々に対する様々な働きかけを効果的に進めていくために、地域において協議会委員及びその母団体が持つ影響力を最大限に活用する。

### 5-3 計画の見直し

---

本計画は、自然再生協議会が必要に応じて見直しを行う。

特に、自然環境の保全・再生は、事業効果が気象条件等の影響を受ける場合が多いことから、5年間程度の事業とモニタリングを実施した結果、目標に近づいている効果が確認できない場合には、自然再生指標の設定及び自然再生モニタリング調査の実施内容について見直し、順応的な計画の管理を行う。

また、地域の社会環境、経済環境の変化に応じて、自然再生活動の支援及び普及啓発事業の実施内容に関する見直しを行う。

見直しの過程では、情報の公開と市民参加を適切に実施する。

改訂された実施計画は公開する。



## 参 考 資 料 1

### 関係機関において実施が予定されている自然再生事業

#### (1) 群馬県関係

##### 1) 水質の改善に向けて実施する群馬県事業

事業分野	群馬県事業
1) 住民意識の向上 (生活の改善に向けた啓発活動など)	なし
2) 排出汚濁負荷量の絶対量の削減 (家庭の台所・風呂場や農地などから川・沼への汚濁物質排出の削減)	特定施設の重点立ち入り調査 (群馬県東部環境事務所) 水質汚濁事故対応 (群馬県東部環境事務所、市町)
3) 汚水処理施設の整備と活用促進 (合併浄化槽の普及や下水道整備など)	浄化槽適正管理推進事業 (東部環境事務所) 浄化槽教室の開催 (東部環境事務所)
4) 沼や河川で実施する対策・自然浄化機能等の活用 (底泥の除去、ばっ気、浄化植物の植栽など)	浄化用水の導水 (群馬県河川課、館林土木事務所、館林市、待矢場両堰土地改良区) 炭素繊維によるリン除去 (群馬県河川課) 礫間接触浄化施設 (群馬県河川課) アオコ対策浮島 (群馬県河川課) 底泥浚渫 (群馬県河川課)
モニタリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多々良沼及び周辺における水質調査</li> <li>【今後実施を検討するモニタリング調査】</li> <li>・群馬県版水環境健全性指標の評価の実施 (多々良沼及び城沼)</li> <li>・見透視度 (みとうしど) の計測 (多々良沼及び城沼)</li> <li>・多々良沼、城沼流域における発生源別汚濁負荷量 (1km メッシュ) の算出及び公表 (多々良沼及び城沼)</li> </ul>

## 2) 生態系の保全・回復に向けて実施する群馬県事業

事業分野	群馬県事業
1) 生態系の調査・把握・広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民探鳥会(群馬県自然環境課)</li> <li>・森林楽習講座(群馬県緑化センター)</li> </ul>
2) 在来種、固有種等の保全・再生活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬水田んぼの整備・管理・モニタリング(館林土木事務所)</li> <li>・多々良沼周辺の希少水生植物の移植・育成(多々良沼自然公園を愛する会、館林土木事務所)</li> </ul>
3) 特定外来生物等の駆除・抑制と動向調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城沼のハス生育範囲調査及び駆除方法の検討、駆除実施(館林土木事務所、城沼観光(株)(協力))</li> <li>・多々良沼公園未整備区域及び多々良沼内の景観管理</li> <li>・多々良沼内のハス生育範囲調査</li> </ul>
4) 改修や利水のための河川等の構造変更による影響の調査・把握・分析	なし

## 3) 親水性の向上に向けて実施する群馬県事業

事業分野	群馬県事業
1) 沼とふれあう機会を増やすための施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立多々良沼公園の整備推進及び既存施設の運営・管理(館林土木事務所)</li> <li>・県立おうら創造の森の運営・維持管理(県緑化センター)</li> <li>・県立つつじが岡公園の整備推進(館林土木事務所)</li> <li>・近隣道路の歩行者ネットワークの整備及び維持管理(館林土木事務所)</li> </ul>
2) イベント・レクリエーション等の開催	なし
3) おもてなし環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網場におけるごみ除去(館林土木事務所、邑楽町)</li> </ul>
4) 体験教室、課外授業等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民探鳥会(県自然環境課)</li> <li>・野鳥観察(県緑化センター)</li> </ul>
5) 地域の歴史や生活を語り伝える人材の育成	なし
6) 地域内外の人を呼び込むための積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスメディア等に向けた情報発信、取材協力等</li> </ul>

## (2) 館林市関係

### 1) 水質の改善に向けて実施する館林市事業

事業分野	館林市事業
1) 住民意識の向上 (生活の改善に向けた啓発活動など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館林市水質監視員制度</li> <li>・ 館林市ふるさとづくり出前講座</li> <li>・ たてばやし学校エコライフ活動</li> <li>・ 環境情報誌「エコシティ」発行</li> <li>・ 館林市環境賞 顕彰制度</li> </ul>
2) 排出汚濁負荷量の絶対量の削減 (家庭の台所・風呂場や農地などから川・沼への汚濁物質排出の削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水質汚濁事故対応</li> <li>・ 廃食用油の回収</li> </ul>
3) 汚水処理施設の整備と活用促進(合併浄化槽の普及や下水道整備など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道の整備促進</li> <li>・ 合併処理浄化槽整備補助金交付</li> <li>・ 合併処理浄化槽管理費補助</li> </ul>
4) 沼や河川で実施する対策・自然浄化機能等の活用(底泥の除去、ばっ気、浄化植物の植栽など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浄化用水の導水(農業・環境用水の供給)</li> <li>・ イケチョウガイによる水質浄化と淡水真珠の養殖実験</li> </ul>
目標達成状況把握のためのモニタリング調査	・ 多々良沼・城沼及び周辺における水質調査

### 2) 生態系の保全・回復に向けて実施する館林市事業

事業分野	館林市事業
1) 生態系の調査・把握・広報	市民探鳥会 自然学習会 白鳥飛来数一斉調査 子どもさかな教室
2) 在来種、固有種等の保全・再生活動	多々良保安林の維持管理
3) 特定外来生物等の駆除・抑制と動向調査	なし
4) 改修や利水のための河川等の構造変更による影響の調査・把握・分析	なし

### 3) 親水性の向上に向けて実施する館林市事業

事業分野	館林市事業
1) 沼とふれあう機会を増やすための施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立多々良農村公園の運営・維持管理</li> <li>・近隣道路の歩行者ネットワークの整備及び維持管理</li> </ul>
2) イベント・レクリエーション等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてばやし駅伝大会</li> <li>・館林シャトルマラソン</li> <li>・たてばやしウォークラリー大会</li> </ul>
3) おもてなし環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の環境美化運動</li> <li>・ごみ除去ネットの設置</li> <li>・市民一斉清掃</li> <li>・池沼雑物処理</li> <li>・城沼クリーン作戦</li> </ul>
4) 体験教室、課外授業等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとづくり出前講座</li> <li>・たてばやし学校エコライフ活動</li> <li>・市民探鳥会</li> </ul>
5) 地域の歴史や生活を語り伝える人材の育成	なし
6) 地域内外の人を呼び込むための積極的な情報発信	・マスメディア等に向けた情報発信、取材協力等

### (3) 邑楽町関係

#### 1) 水質の改善に向けて実施する邑楽町事業

事業分野	邑楽町事業
1) 住民意識の向上 (生活の改善に向けた啓発活動など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・邑楽町みんなの講座</li> <li>・川学習</li> </ul>
2) 排出汚濁負荷量の絶対量の削減 (家庭の台所・風呂場や農地などから川・沼への汚濁物質排出の削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃食用油の回収</li> </ul>
3) 汚水処理施設の整備と活用促進 (合併浄化槽の普及や下水道整備など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の整備促進</li> <li>・浄化槽設置整備事業補助</li> </ul>
4) 沼や河川で実施する対策・自然浄化機能等の活用 (底泥の除去、ばっ気、浄化植物の植栽など)	なし
目標達成状況把握のためのモニタリング調査	・多々良沼及び周辺における水質調査

## 2) 生態系の保全・回復に向けて実施する邑楽町事業

事業分野	邑楽町事業
1) 生態系の調査・把握・広報	・町立高島小学校ハードウォッシング
2) 在来種、固有種等の保全・再生活動	・邑楽町立中野東小学校 ムジナモ、ドジョウの放流
3) 特定外来生物等の駆除・抑制と動向調査	なし
4) 改修や利水のための河川等の構造変更による影響の調査・把握・分析	なし

## 3) 親水性の向上に向けて実施する邑楽町事業

事業分野	邑楽町事業
1) 沼とふれあう機会を増やすための施設の整備	・町立多々良沼公園の運営・維持管理 ・町立中野沼公園の運営・維持管理 ・近隣道路の歩行者ネットワークの整備及び維持管理
2) イベント・レクリエーション等の開催	なし
3) おもてなし環境づくりの推進	・環境美化活動
4) 体験教室、課外授業等の開催	・川学習
5) 地域の歴史や生活を語り伝える人材の育成	なし
6) 地域内外の人を呼び込むための積極的な情報発信	・マスメディア等に向けた情報発信、取材協力等

## (4) 多々良沼・城沼自然再生協議会 参加団体の活動カレンダー

2012年2月及び11月の協議会事務局による調査結果を統合して記載した。

### ■通年または随時実施している活動

時期・回数等	行事・活動	場所	実施団体等	参加者	活動内容等
通年	農業・環境用水供給	多々良沼、用水路	待矢場両堰土地改良区		
通年	竹ヲウガイ育成	鶴生田川	成島河川愛護会	会員	
年10回	公園管理	多々良沼公園	鶉新田自治会	地区住民	落ち葉ゴミの清掃、雑草駆除
年6回程度	市民探鳥会	城沼、多々良沼、茂林寺沼湿原等	日本野鳥の会群馬館林分会、館林市	一般自由参加	野鳥の会独自の探鳥会も、別途、実施
年4回程度	城沼の水質調査	鶴生田川、城沼	緑のテーブル	会員	
年4回	水質検査	城沼	城沼漁協（共催）	緑のテーブル会員	（旧館林生活学校連絡協議会）
年4回	沼岸清掃	古城沼	古城沼漁協	組合員	除草、ゴミ回収等
年4回程度	鶴生田川（上流部）清掃活動	鶴生田川（上流部）、周辺の水路	成島河川愛護会	会員	
春、夏、秋、冬	花の植栽	孫兵衛川	ふれあい花道	会員	
春、夏、秋、冬	花の植栽	孫兵衛川	明野自治会	明野地区住民	
年3回～	清掃	鶴生田川	成島河川愛護会	会員	河川内も含む
年2～4回	北岸ボランティア	城沼北岸	城沼観光(株)	株主全員	草刈り、薬剤散布 城沼漁協と合同
年2～3回	城沼周辺清掃	城沼	城沼漁協	組合員	
年2～3回	城沼周辺清掃	城沼	城沼観光(株)	株主全員	城沼漁協と合同
春、秋の年2回	鶴生田川親水大作戦	鶴生田川（市街地）	まちづくりを考える研究グループ「花水木」	一般自由参加（子ども中心）	・護岸へのプランター設置 ・川下り探検 毎回80人程度参加
年2回	空か、空ビン拾い	地区内生活道路	鶉新田育成会	会員、役員	小学生参加
春、秋	災害復旧、釣り場修理		日向漁協	組合員	
年1回	草刈り	多々良沼西岸道路	地区交通安全協会	協会、行政区役員	通行障害の雑草駆除
H24～（モデル実施）	たてばやし学校エコライフ活動	市内小中特別支援学校	各学校、館林市	各校の生徒	各学校の環境教育活動をマネジメントシステムに基づき運用
適宜実施	公園整備、除草	県公園自然観察エリア	多々良沼自然公園を愛する会	会員	
	水質改善活動		多々良沼自然公園を愛する会	会員	家庭廃油で環境に優しい石けんづくり 手作り石けんの販売と啓発活動
	カギツバタ、オニバスの保護活動		ケチフ・カギツバタの会	会員	
	ムシチモの保護活動		館林ムシチモを守る会	会員	
H26年度開催要請	全日本ボートマスターズ大会		群馬県ボート協会館林RC		

時期・回数等	行事・活動	場所	実施団体等	参加者	活動内容等
H29 年度開 催予定	第 72 回関東ブロッ ク大会(ミニ国体)		群馬県ボート協 会館林 RC		
随時	トホの生息調査	館林市内	個人		市内に生息しているト ホの調査

## ■ 4月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
3 月下旬～5 月上旬	世界一こいのぼりの 里まつり	多々良沼、鶴生 田川、つつじが 岡パークイン、近 藤沼、茂林寺川	館林市観光協会	一般自由参加	毎年 23 万人程度来場
4 月中旬～5 月中旬	つつじまつり	県立つつじが岡 公園	館林市観光協会	一般自由参加	毎年 28 万人程度来場
毎月第一日 曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群 馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3 ～4時間)
4月上旬	沼辺のゴミ清掃	多々良沼東南 岸	多々良沼自然公 園を愛する会	会員、地域	
4 月第 1(第 2) 日曜	クリーンハイク多々良沼	多々良沼	実行委員会	自由参加	毎年約 500 人参加
	歩道路肩清掃	町道 1-3 号線 (多々良沼北側 道路)	第 12 区自治会	地区役員	除草、ゴミ拾い、除草 剤散布 年 3 回(4、7、10 月)
	つつじ株元除草	城沼北岸歩道 脇	楠木ボランティアの 会	会員	活動区域 4、7、10 月
	市民一斉清掃運動	城沼	館林市	地区役員、市民	空き缶、ゴミ等の回収 4 月、11 月
	多々良沼周辺ゴミ 拾い	多々良川岸、沼 東側	日向漁協	組合員	年 4 回(3、4、11、12 月)
	カワウ対策	多々良沼	日向漁協	組合員	年 4 回(4、11、12、1 月)
	水面ゴミ拾い	城沼	城沼漁協	5 名	船利用
	城沼ワカサギ稚魚放 流事業		城沼漁協	組合員	

## ■ 5月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
3 月下旬～5 月上旬	世界一こいのぼりの 里まつり	多々良沼、鶴生 田川、つつじが 岡パークイン、近 藤沼、茂林寺川	館林市観光協会	一般自由参加	毎年 23 万人程度来場
4 月中旬～5 月中旬	つつじまつり	県立つつじが岡 公園	館林市観光協会	一般自由参加	毎年 28 万人程度来場
毎月第一日 曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群 馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3 ～4時間)
5 月上旬	清掃	多々良川	第 1 区自治会	役員ほか	ゴミ、空き缶、空き瓶 回収(5、8、10 月上旬)
5 月 27 日	県民体育大会(ボ ート競技)		群馬県ボート協 会館林 RC		国体群馬代表選手選 考会
(H26 年)	関東ボート大会(国 体ブロック)		栃木県ボート協 会		H26 年実施のため、会 場借用依頼がきている
	弁財天祭礼	浮島弁財天	鶉新田、恩林寺	地区住民	境内清掃(5、11 月)
	沼水の水質調査	多々良沼	多々良沼自然公 園を愛する会	会員	年 5 回(5、8、9、12、3 月)

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
	草刈り、ゴミ収集	白鳥の飛来水域	城沼白鳥を守る会	会員	5, 11月
	除草剤散布	城沼北岸歩道脇空地	楠木ボランティアの会	会員	活動区域(5, 8月)
	春の環境美化運動	管内	市、市環境保健委員協議会、(社)環境資源保全協会、県環境検査事業団	一般県民	花の種、啓発ティッシュを配布し、ゴミのポイ捨て防止や環境美化を県民に広く呼びかける
	加法師川清掃活動	加法師川、伴木掘	加法師川をきれいにする会	会員	会は、流域の行政区、育成会等の団体で構成。市は活動支援。毎回350人程度参加(5月、12月)
	ハス刈り取り	城沼	城沼観光(株)	役員	10回程度、船利用(5~6月)
	城沼ハス繁茂対策	城沼	城沼漁協	組合員	ハス繁茂抑制(5~6月) H25年度実施予定

## ■ 6月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
6月上旬~6月下旬	花菖蒲まつり	花菖蒲園(つつじが岡第二公園)	館林市観光協会	一般自由参加	毎年10万人程度来場
毎月第一日曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(約4km、3~4時間)
6月(環境月間)	ムジナモの展示	市役所市民ホール	館林ムジナモを守る会	会員、一般	
6月(半日)	城沼サミット事前調査	城沼その他	城沼を考える市民会議	構成団体員	城沼を考える月間の行事(H24 近藤沼の歴史、水について現地調査)
6月(半日)	城沼自然探検ゲーム	城沼総合運動公園周辺	城沼を考える市民会議、ネイチャーゲームの会、館林市	一般自由参加	城沼を考える月間の行事(ネイチャーエクスポアリング)
6月(1週間程度)	城沼を考える市民会議傘下団体活動報告、城沼の動植物展示	館林市役所市民ホール	城沼を考える市民会議、館林市	一般自由参加	城沼を考える月間の行事として開催
	沼周辺道路の清掃	南岸側道路	多々良沼自然公園を愛する会	会員	6月、11月
	ハス刈り取り	城沼	城沼観光(株)	役員	10回程度、船利用(5~6月)
	城沼ハス繁茂対策	城沼	城沼漁協	組合員	ハス繁茂抑制(5~6月) H25年度実施予定

## ■ 7月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
毎月第一日曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(約4km、3~4時間)
7月上旬~8月中旬	夏の城沼花ハスマつり	城沼、古城沼、つつじが岡パークイン	館林市観光協会	一般自由参加	毎年4万人程度来場



時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
	視察、研修会	近隣湖沼	館林ムジナモを守る会	会員	
	歩道路肩清掃	町道 1-3 号線 (多々良沼北側道路)	第 12 区自治会	地区役員	除草、ゴミ拾い、除草剤散布(年 3 回(4、7、10 月))
	つつじ株元除草	城沼北岸歩道脇	楠木ボランティアの会	会員	活動区域(4、7、10 月)
	低高木薬剤散布	城沼北岸歩道脇	楠木ボランティアの会	会員	害虫防除
	ボランティア清掃活動	茂林寺湿原	茂林寺沼及び低地湿原を守る会	会員、一般	守る会、企業(6)、市民参加(7 月、10 月)

## ■ 8月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
7 月上旬～8 月中旬	夏の城沼花ハスマつり	城沼、古城沼、つつじが岡パークイン	館林市観光協会	一般自由参加	毎年 4 万人程度来場
毎月第一日曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3～4 時間)
H25.8.11 予定	多々良沼子供つり教室		日向漁協	地元小学生	八小、十小、明野小生を対象に夏休み中に実施予定
8 月頃	多々良沼花火大会		日向漁協	一般	実施を計画している。
8 月上旬	清掃	多々良川	第 1 区自治会	役員ほか	ゴミ、空き缶、空き瓶回収(5、8、10 月上旬)
	沼水の水質調査	多々良沼	多々良沼自然公園を愛する会	会員	年 5 回(5、8、9、12、3 月)
	ムジナモ配布会	近隣、市内	館林ムジナモを守る会	市民	毎年 100 名以上参加
	ムジナモ配布	市役所内	館林ムジナモを守る会	市民	H23 100 袋配布
	ハス現地調査	城沼	城沼観光(株)(協力)	館林土木	ハス繁茂調査
	除草剤散布	城沼北岸歩道脇空地	楠木ボランティアの会	会員	活動区域(5、8 月)
	教職員研修講座	茂林寺湿原	子ども科学館	教職員	昆虫観察

## ■ 9月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
毎月第一日曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3～4 時間)
9 月第二土曜	ツバメねぐら入り観察会	多々良沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(ツバメのねぐら入り)
9 月頃	ムジナモ越冬実験	多々良沼	館林ムジナモを守る会	会員	
	大谷休伯慰霊祭		遺徳顕彰会		
	多々良沼子供釣り大会		日向漁協		八小、十小、明野小生を対象に実施予定
	沼水の水質調査	多々良沼	多々良沼自然公園を愛する会	会員	年 5 回(5、8、9、12、3 月)

## ■ 10月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
毎月第一日曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3～4時間)
10月上旬	清掃	多々良川	第1区自治会	役員ほか	ゴミ、空き缶、空き瓶回収(5、8、10月上旬)
10月末	ガバ沼白鳥飛来準備	ガバ沼	邑楽町白鳥を守る会	会員	麦まき(白鳥の餌)
10月～11月	愛する会フェスティバル	県公園自然観察エリア	多々良沼自然公園を愛する会	会員、一般	
	ウォーキング大会	城沼	アゼリアモールウォーキングクラブ	一般	H23 約 120 人 城沼周回
	ボート教室	城沼	群馬県ボート協会、城沼公民館	市民	城沼特設コースで実施
	歩道路肩清掃	町道1-3号線(多々良沼北側道路)	第12区自治会	地区役員	除草、ゴミ拾い、除草剤散布(年3回(4、7、10月))
	つつじ株元除草	城沼北岸歩道脇	楠木ボランティアの会	会員	活動区域(4、7、10月)
	ハス茎刈り	白鳥の飛来水域	城沼白鳥を守る会	会員	H25 年度からボランティアの参加募集を予定
	ボランティア清掃活動	茂林寺湿原	茂林寺沼及び低地湿原を守る会	会員、一般	守る会、企業(6)、市民参加(7月、10月)
	クロマカ配布	市役所前	館林クロマカの会		H23 年度 約3000匹
	城沼うなぎ稚魚の放流事業	城沼	城沼漁協	組合員	
	多々良沼ウナギ放流	多々良沼	日向漁協	組合員	

## ■ 11月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
10月～11月	愛する会フェスティバル	県公園自然観察エリア	多々良沼自然公園を愛する会	会員、一般	
11月第一土曜日	城沼サミット	城沼	城沼を考える市民会議	構成団体員及び一般自由参加	構成6団体で運営委員会を設置(事務局:市)、毎年120人程度参加
11月第一土曜日	城沼クリーン作戦	鶴生田川・城沼	館林市環境保健委員協議会	館林市環境保健委員	鶴生田川・城沼周辺の清掃活動
毎月第一日曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3～4時間)
11月第三日曜	県民探鳥会	多々良沼	日本野鳥の会群馬主催	会員、一般	野鳥観察
毎年大寒の日曜日	日向漁協まつり	多々良沼船着場	日向漁協	一般	
H23.11.10	県民探鳥会	多々良沼	県(自然環境課)	一般県民	24年度開催場所は未定
11月12日	子どもさかな教室	城沼	城沼漁協(協力)	小学生15名	子ども科学館
11月中旬	Eサの調達	城沼	城沼白鳥を守る会	会員	11、12、2月中旬
	野鳥観察	おうら創造の森	県緑化センター	一般	H23 第1回
	城沼ウォーキング大会	城沼	館林商工会議		

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
			所、つつじの里 SC		
	沼周辺道路の清掃	南岸側道路	多々良沼自然公園を愛する会	会員	6月、11月
	多々良沼周辺ゴミ拾い	多々良川岸、沼東側	日向漁協	組合員	年4回(3,4,11,12月)
	市民一斉清掃運動	城沼	館林市	地区役員、市民	空き缶、ゴミ等の回収 4月、11月
	弁財天祭礼	浮島弁財天	鶉新田、恩林寺	地区住民	境内清掃(5, 11月)
	草刈り、ゴミ収集	城沼 白鳥の飛来水域	城沼白鳥を守る会	会員	5, 11月
	ハクチョウへの給餌	城沼	城沼白鳥を守る会	会員	11月～3月
	多々良沼ハクチョウ餌付け	多々良沼	多々良沼白鳥を守る会	会員	11月～3月
	ガバ沼白鳥餌付け	ガバ沼	邑楽町白鳥を守る会	会員	11月～3月
	多々良沼ヘラブナ放流	多々良沼	日向漁協		1,000kg
	城沼ナ、クホリ放流事業	城沼	城沼漁協	組合員	
	カワウ対策	多々良沼	日向漁協	組合員	年4回(4,11,12,1月)

## ■ 12月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
毎月第一日曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察(約4km、3～4時間)
12月中旬	Eサの調達	城沼	城沼白鳥を守る会	会員	11, 12, 2月中旬
	たてばやし駅伝大会	城沼周辺	館林市	一般	H23(第29回)
	秋の国際交流おしゃべりハイキング	多々良沼周辺	館林西スポーツクラブ、市国際交流協会	一般	H23 第3回
	沼水の水質調査	多々良沼	多々良沼自然公園を愛する会	会員	年5回(5, 8, 9, 12, 3月)
	多々良沼周辺ゴミ拾い	多々良川岸、沼東側	日向漁協	組合員	年4回(3,4,11,12月)
	加法師川清掃活動	加法師川、伴木掘	加法師川をきれいにする会	会員(流域の行政区、育成会等の団体)	毎回350人程度参加(5月、12月)
	カワウ対策	多々良沼	日向漁協	組合員	年4回(4,11,12,1月)
	ヘラブナ稚魚放流	城沼	城沼漁協	組合員	H23年度約13,000匹
	ガバ沼白鳥餌付け	ガバ沼	邑楽町白鳥を守る会	会員	11月～3月

## ■ 1月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
1月1日	初日の出参拝	多々良沼 浮島 弁財天	初日の出を見る 会	一般	H23 第23回
毎月第一日 曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群 馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3 ~4時間)
1月中旬	ガン・カモ・ハクチョウ調 査	多々良沼	日本野鳥の会群 馬	調査員	全国一斉調査
1月中旬	ガン・カモ・ハクチョウ調 査	城沼	日本野鳥の会群 馬	調査員	全国一斉調査
1月第三日曜 日	日向漁協まつり	多々良沼	日向漁協	一般自由参加	
1月最終日曜	白鳥まつり	ガバ沼	邑楽町白鳥を愛 する会	自由参加	毎年約1,000人参加
1月末	白鳥ウッチング	城沼	城沼白鳥を守る 会	会員、市民	パークイン北岸 7時から朝食会
H25.1.25 予定	白鳥まつり	ガバ沼	白鳥まつり	会員、市民	ガバ沼駐車場 豚汁、おにぎり他
	ガバ沼白鳥餌付け	ガバ沼	邑楽町白鳥を守 る会	会員	11月~3月
	カワウ対策	多々良沼	日向漁協	組合員	年4回(4,11,12,1月)

## ■ 2月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
毎月第一日 曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群 馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3 ~4時間)
2月第一日曜 日	白鳥まつり	多々良沼	多々良沼白鳥を 守る会	一般自由参加	
2月第二日曜	邑楽・館林地区民 探鳥会	多々良沼	日本野鳥の会群 馬	会員、一般	野鳥観察
2月中旬	ガン・カモ・ハクチョウ調 査	多々良沼	日本野鳥の会群 馬	調査員	野鳥の会群馬の調査
2月中旬	ガン・カモ・ハクチョウ調 査	城沼	日本野鳥の会群 馬	調査員	野鳥の会群馬の調査
2月中旬	Eサの調達		城沼白鳥を守る 会	会員	11, 12, 2月中旬
2013/2/10 予 定	探鳥会	多々良沼	日本野鳥の会群 馬	会員参加	毎年実施
	館林シャトルマラソン	城沼周辺	館林市	市民	H23 第38回
	ガバ沼白鳥餌付け		邑楽町白鳥を守 る会	会員	11月~3月
	白鳥飛行コース調査	飛行コース	城沼白鳥を守る 会	会員	

## ■ 3月

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
毎月第一日 曜	月例探鳥会	城沼	日本野鳥の会群 馬	会員、一般	野鳥観察(約 4km、3 ~4時間)
3月下旬~4 月中旬	館林さくらまつり	鶴生田川 城沼 流入部、多々良 保安林、つつじ が岡パークイン、 近藤沼公園	館林市観光協会	一般自由参加	毎年14万人程度来場

時期	行事・活動	場所	実施団体等	参加対象者	活動内容等
3月下旬～5月上旬	世界一こいのぼりの里まつり	多々良沼、鶴生田川、つつじが岡パークイン、近藤沼、茂林寺川	館林市観光協会	一般自由参加	毎年23万人程度来場 八木節など(近藤川放水路部)
3月第三土曜	ヨシ刈り、ヨシ焼き	多々良沼北西部	多々良沼自然公園を愛する会	会員	
3月第三土曜	クワン探鳥会	城沼	日本野鳥の会群馬	会員、一般	野鳥観察、ゴミ拾い
	多々良地区歩け歩け大会	多々良沼周辺	市体協多々良支部	市民	4 公民館地区で実施。 8kmコース
	沼水の水質調査	多々良沼	多々良沼自然公園を愛する会	会員	年5回(5、8、9、12、3月)
	多々良沼周辺ゴミ拾い	多々良川岸、沼東側	日向漁協	組合員	年4回(3,4,11,12月)
	河川クワン運動	孫兵衛川	邑楽町河川愛護クワン運動の会	会員	毎年約80人参加
	ガバ沼白鳥餌付け	ガバ沼	邑楽町白鳥を守る会	会員	11月～3月